

### 3. 教職員に対する研究会、研修会等の開催

#### 3-1 大学情報化全国大会

本大会は、大学全体における情報化への理解普及と情報化推進に伴う支援環境、支援体制など、大学としての今後の対応について理解を深め、大学の教育及び支援環境の充実向上に寄与することを目的として毎年開催しているが、大会の一層の発展を期すため、昨年度に引き続き文部科学省の後援を得て、加盟校以外の国・公・私立大学関係者の参加を呼び掛けることにした。

なお、本大会の企画・運営・実施は、情報化全国大会運営委員会（委員長：向殿政男、明治大学）を継続設置して対応した。

##### (1) 開催方針

平成15年度大会は、次のような方針のもとで開催プログラムを決定した。

- ① 開催テーマを「e-Learningの実現に向けて」とし、e-Learningについて基礎的な理解が得られるよう初日を中心にプログラムを企画した。
- ② 1日目は、e-Learningの有効性や限界について共通理解や認識を深めるため、「e-Learningの実現に向けて～大学におけるe-Learningの可能性と限界～」と題して、玉木欽也氏（青山学院大学経営学部教授）より基礎的かつ体系的に理解が得られるよう講演を企画した。続いて、大学におけるe-Learningの取り組みとして、文教大学のe-Learning活用への試み、アジアの大学との連携として、京都大学、東京工業大学によるSCORM対応の教材作成と学習支援の報告、さらには、e-Learningに関する経済産業省の取り組みの紹介を行うことにした。  
その上で教材の相互利用に欠かせない、コンテンツ標準化の問題を理解するため、中村壽宏氏（九州国際大学法学部助教授）より「e-Learningにおけるデジタルコンテンツ標準化の意義」、安田 浩氏（東京大学国際・産学共同研究センター長）より「デジタルコンテンツ標準化の動向」の講演を行うこととした。
- ③ 2日目は、情報技術を活用した教育や支援環境に関する事例について、昨年に引き続き会員校の他に、非加盟の国公私立の大学・短期大学へ公募した。

④ 3日目は、e-Learningの基盤環境であるセキュリティ問題について理解を深めるため、「ネットワークセキュリティポリシーの実現を目指して」と題して、当協会のネットワーク研究委員会学内LAN運用管理小委員会による解説を行うこととした。また、技術動向の紹介として、「デジタルペーパーの新技术動向～教育現場から見た次世代ディスプレイの可能性～」と題して、横井利彰氏（武蔵工業大学環境情報学部助教授）より総論、（株）リコー、凸版印刷（株）、大日本印刷（株）の3社による研究段階での技術動向の紹介を行う他、松下電機産業（株）とシャープシステムプロダクト（株）による「携帯端末の技術動向」の紹介、植村八潮氏（東京電機大学出版局編集課長）による「デジタル教材・教科書の現状と将来」と題した講演を行うこととした。

## （2）開催結果

以上の方針のもとに、次ページの通り開催要項及び日程を決定し、9月9日、10日、11日の3日間に亘り、東京市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷（私学会館）を会場に開催した。参加大学は、173大学、29短大、賛助会員は27社で、3日間の参加者数は2日目発表者や賛助会員を含めて543名となり、昨年度より約70名増加した。なお、大会の概要は巻末の資料編【資料9】を参照されたい。

## （3）次年度への準備

大会後、運営委員会では、参加者からのアンケートを踏まえて、平成16年度の開催方針について検討を行った。日程及び会場は、9月7日から9日の3日間、アルカディア市ヶ谷（私学会館）に決定した。平成16年度の大会テーマを「e-Learningの実際」とし、プログラムの内容は、e-Learning導入における理想と実際について、大学が組織的に活用している事例と一部の授業での活用事例を行い、活用に伴う課題や失敗などの体験を中心に導入に伴う工夫や準備について、全体討議するなどの検討を進めている。なお、昨年度同様、開催結果の概要を大会終了後にホームページに掲載し、当協会の活動内容がより多くの大学関係者に周知されるよう迅速に対応することとした。

平成15年度 大学情報化全国大会 開催プログラム

9月9日(火)		9月10日(水)		9月11日(木)			
参加費 会場	無料 3F 富士	参加費 会場	無料 3F 富士	参加費 会場	無料 3F 富士		
10:00	●開会挨拶 社団法人私立大学情報教育協会 戸高 敏之会長	10:00	大会発表(68件) A-1 B-1 C-1 D-1 A-2 B-2 C-2 D-2 A-3 B-3 C-3 D-3 11:00 展示会 出展内容紹介 11:10 休憩 11:20 A-4 B-4 C-4 D-4 11:40 A-5 B-5 C-5 D-5 12:00 A-6 B-6 C-6 D-6 12:20 展示会 出展内容紹介 12:30 休憩 14:00 A-7 B-7 C-7 D-7 14:20 A-8 B-8 C-8 D-8 14:40 A-9 B-9 C-9 D-9 15:00 展示会 出展内容紹介 15:10 休憩 15:20 A-10 B-10 C-10 D-10 15:40 A-11 B-11 C-11 D-11 16:00 A-12 B-12 C-12 D-12 16:20 休憩 16:30 A-13 B-13 C-13 D-13 16:50 A-14 B-14 C-14 D-14 17:10 A-15 B-15 C-15 D-15 17:30 休憩 17:40 A-16 B-16 C-16 D-16 18:00 A-17 B-17 C-17 D-17 18:20 休憩 18:30 懇親会 会場: 6F 阿蘇 参加費 会員: 6,500円 非会員: 9,750円 終了	10:00	●ネットワークセキュリティポリシーの実現を目指して 私立大学情報教育協会・学内LAN運用管理小委員会 委員長・南山大学教壇情報学部教授 後藤 邦夫氏 委員・朝日大学経営学部教授 奥山 徹氏 11:10 展示会 出展内容紹介 ●技術動向1 「デジタルペーパーの新技術動向 ～教育現場から見た次世代ディスプレイの可能性～」 総論 武蔵工業大学環境情報学部助教授 横井 利彰氏 11:25 技術動向 株式会社リコー 研究開発本部オプティクスシステム研究所 システム研究センター 服部 仁氏 凸版印刷株式会社 電子ペーパー事業推進部 新井 善浩氏 大日本印刷株式会社 研究開発センター FDプロフェクトリーター 三宅 徹氏 12:30 展示会 出展内容紹介 12:40 休憩 14:10 ●技術動向2 「携帯端末の技術動向」 松下電器産業株式会社 シャープシステムプログラム株式会社 14:55 ●講演 「デジタル教材・教科書の現状と将来」 東京電機大学出版編集課長 楠村 八潮氏 15:30 展示会 出展内容紹介 15:50 終了	10:00	●開会挨拶 社団法人私立大学情報教育協会 戸高 敏之会長 ●基調講演 「e-Learningの実現に向けて ～大学におけるe-Learningの可能性と限界～」 青山学院大学経営学部教授 玉木 欽山氏 11:10 ●事例紹介 「学習状況の測定と学習支援のためのe-Learningの活用」 文教大学情報情報センター長 宮田 裕之氏 11:40 「MeIn(Malaysia Japan e-Learning Network)プロジェクトにおける マルチメディア専門教育用SCORM型教材の作成と評価」 京都大学情報センター教授 菅 元木 瑠氏 12:10 「同期型講義を活用したSCORM対応e-Learning教材作成と学習支援」 東京工業大学教育工学開発センター助教授 中山 実氏 12:40 休憩 14:00 ●紹介 「e-Learningに関する経済産業省の取り組み」 経済産業省情報政策局情報処理課 課長補佐 田代 秀一氏 14:30 ●講演 「e-Learningにおけるデジタルコンテンツ標準化の意義」 九州国際大学法学部助教授 中村 壽宏氏 15:00 休憩 15:20 ●講演 「デジタルコンテンツ標準化の動向」 東京大学国際・産学共同研究センター長 安田 浩氏 16:15 ●私立大学情報教育協会の活動 16:30 終了

\*9月10日のセッション参加者数が会場の座数を上回る場合には、隣接の会場にて講演内容をスタリオンに投影し、そちらでご覧いただくこととなります。あらかじめご了承ください。